

| 指 導 技 術 | | 観 点 別 の 授 業 改 善 の 視 点 | | | | |
|---|--|---|--|--|--|--|
| 教 師 の 指 導 (授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導など) | | 関心・意欲・態度を向上させるための手だて | 話す・聞く力を向上させるための手だて | 書く力を向上させるための手だて | 読む力を向上させるための手だて | 言語事項に関する知識・理解力を向上させるための手だて |
| 導 入 | <p>(授業規律)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席を徹底させ、始業の態勢を作らせる。 ・教材の準備、忘れ物の確認を行い、忘れた生徒への対応をする。 <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらい(課題)を板書し、ノートに(ノート指導)書かせ、意識させる。 <p>(指導技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材に関わる実物や写真などを提示する。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時のポイントを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時の授業のポイントを想起させた後、本時の課題を明確にして、本時の内容への興味をもたせる。 ・教材の内容に関する写真や実物などを提示し、内容への興味を引き出す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・集中して話を聞けるような教室環境を整える。 ・重要度を知らせるために、話す際の声の大きさや、抑揚を工夫したり、体での表現などを取り入れたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・条件やテーマを明確にする。 ・書き始めなどの簡単な例を提示する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時の内容の重要ポイントを想起させ、その後本時の課題を知らせ、読みのポイントをつかませる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・漢字小テストを実施し定着を図る。 ・書写におけるその時間のポイントを理解させる。 |
| 展 開 | <p>(指導技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材に応じたワークシートや冊子を作成する。 ・スタンプカードや記録表など学習の成果やステップがわかるようにし、達成感をもたせる。 ・小グループによる話し合いの場を設け、様々な読みや考え方を知り合えるようにする。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問の後に考える時間を十分確保する。 <p>(ノート指導)・板書をノートに書く時間を必ず確保する。</p> <p>(個別指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文に印を付けたり、ノートに書く作業中には、机間指導を行い、助言を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・正解やまちがいにこだわらず、さまざまな考えや読みが可能であることを知らせ、授業環境を整え、進んで読もう、考えようとする態度につなげる。 ・スタンプカード等を用い、意欲を引き出す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの話し合い活動の中で、「話す」「聞く」場面を多くもつ。 ・定期的に関き取りテストを実施し、その解説を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句やキーワードを提示したり、制限字数や時間を設け、「書く」ことへの抵抗を少なくする。 ・(記述による)解答例を1, 2提示し、自分のものと比較させながら重要ポイントをふまえた書き方を確認させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの話し合いや、一斉授業の中で他者の意見を聞くことで自分の読みを深めさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・カード等を用い、四字熟語や百人一首、古典の暗記を個人の力に合わせて進める。 ・書写において、欠点の指摘は最小限にとどめ、よい点がかかるようにさせる。 |
| ま と め | <p>(授業構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書を確認しながら、本時の授業内容のまとめをする。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な自己評価をさせる。 <p>(授業構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の課題を知らせる。 <p>(授業規律)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材を整理させ、終わりのあいさつをしっかりとさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業の流れを振り返り、わかったことを確認し次回へ興味・関心をつなげていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・重要度に応じて話し方などを工夫し、内容の確認をさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分で「書くこと」が大切だということを確認させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・板書とノートやワークシートを見直ししながら、本時の内容のまとめをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習のための漢字練習プリントを配布し、学習のポイントと小テスト実施日を連絡する。 |